



第一中学校 コミュニティ・スクールだより

第6号 令和2年11月発行

第3回コミュニティ・スクール学校運営協議会を開催しました！

11月16日（月）に第3回運営協議会を開催しました。

内容は、令和2年度の『「学校評価」の中間報告』、『今後の取組』について熟議を行いました。

『中間報告』では、委員から次のような質問が出ました。

授業の「振り返り」について
生徒は約8割肯定的評価に対して、先生は9割、肯定的評価であるがこの違いは？



生徒と先生との意識のずれがあるのは否めません。今後、「振り返り」の視点を持ち、各教科で付けたい力をつけていけるよう、教科の指導内容を充実させ、生徒に授業で「わかった」という実感を増やしていきたいと考えています。教材研究をして、生徒の実態に合うような授業改善を行っていく予定です。

また、「振り返り」も手軽にできるよう、クロームブックを活用していきたいと考えています。

単元テスト等で目標値に対して達成率が低いのはどうして？



基礎・基本の定着を確実にして、生徒の自分の目指す進路実現をさせるために目標値を高く設定しています。今年度は単元テストを行った時期が新型コロナウイルス感染症対策の休校明けに行い、準備が十分ではないときに行ったので低い正答率となったと考えられます。今後は少ない問題を繰り返して行い、確実に生徒の力をつけて行こうと考えています。

というような意見が出ました。今後も生徒に力がつくよう、そして、「知・徳・体」のバランスの取れた生徒となり、自律できるような取組を進めて行こうと思います。

『今後の取組』では

「花の配布」を考えています。地域の皆様に感謝の気持ちと地域への「貢献」の思いを込め花（パンジー）を贈らせていただきます。地域の公民館や企業等に持って行かせてもらいます。コロナ禍の中、暗いニュースが多い中ではありますが、地域の方々の笑顔が増えて、このことで地域が明るくなったらと考えています。12月上旬には配布できるよう準備を進めております。（右の写真は贈呈用のパンジーの鉢です）



今回の学校運営協議会の最後を、学校運営協議会の副会長が「今はこのコロナ禍の中で何をやるのも難しく、大変であるが、今こそ色々な工夫をしていくことが大切ではないか」と結んでくださいました。これから、できることを工夫してみんなが笑顔になれるような第一中学校のコミュニティ・スクールにしていこうと考えています。



第一中学校コミュニティ・スクールのコンセプトは

「Thanks to you,…」～『おかげさま』あふれるコミュニティ～

地域、家庭、学校が力を合わせ「地域とともにある学校づくり」、 「地域を核とした地域づくり」を目指して！！